

第22回

ダーウィン『種の起源』の正式な書名を知っていますか？ —進化生物学者を超えて—

自然史学者チャールズ・ダーウィンの主著『種の起源』の正式な書名は、
On the Origin of Species by Means of Natural Selection, or the Preservation of Favoured Races in the Struggle for Life。
しかし、ここからが問題です。どう翻訳すればよいのでしょうか…。翻訳することは理解することでもあります。
生物学者であれ誰であれ、ダーウィンの理論をどのように理解しているかが試されてしまいます。

ベストティーチャー賞受賞者シリーズ

くれぬま のりひさ

講師 榎沼範久 (教育人間科学部 准教授)

日 時 平成22年6月23日(水) 18時30分～20時00分

会 場 北仲スクール3階(裏面参照)

みなとみらい線「馬車道駅」2番出口より徒歩0分、
4番出口より徒歩1分

募集人員 : 30名程度【先着順】

受講対象者 : 一般・大学生・高校生

参加費 : 500円(飲み物・お菓子代。高校生は無料。)

後 援 : 横浜市都市経営局、横浜商工会議所

応募方法 : 下記の問い合わせ先まで直接電話かE-mailでお申し込みください。E-mailでお申し込みの場合は、件名に「サイエンスカフェ申し込み」と記入の上、

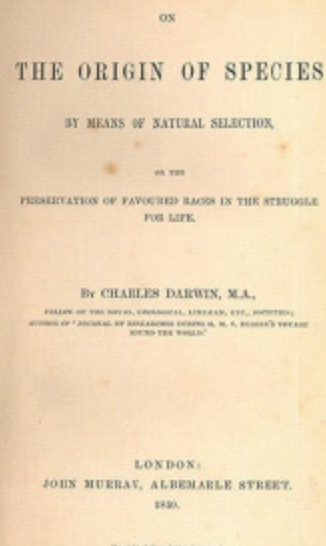
受付開始日
6月2日(水)

①氏名(ふりがな)、②一般・大学生・高校生の別
③連絡先(電話番号)をお知らせください。

問い合わせ先 : 横浜国立大学 / 総務部 学術・国際課

サイエンスカフェ担当(清水)

TEL : 045-339-3033 E-mail : science.cafe@ynu.ac.jp



講師プロフィール



樽沼範久 (くれぬま のりひさ)

1968 年、東京生まれ。芸術論・思想史。

横浜国立大学教育人間科学部（メディア研究講座）准教授。

東京藝術大学美術学部（先端芸術表現科）非常勤講師。

論文：「知覚と生 4ー建築の生態学 (1)」(『SITE ZERO/ ZERO SITE』no. 3、2010 年)、
「問題の真偽と実在の区分 - ギブソンとベルクソン」(『思想』no. 1028、2009 年)、
「ダーウィン、フロイトー剥き出しの性 / 生、そして差異の問題」
(『岩波講座哲学 12ー性／愛の哲学』岩波書店、2009 年) など。

訳書：ハル・フォスター編『視覚論』(平凡社ライブラリー、2007 年)、
マーティン・コーエン『倫理問題 101 問』(ちくま学芸文庫、2007 年)。

出演：「取手 ART PATH 2009」ラウンドテーブル「人は自分を作れるかーロボット工学からアートまで」
(東京藝術大学取手、2009 年 12 月)、
第二回恵比寿映像祭ラウンドテーブル「オルタナティブ・ヴィジョンズー映像の生態学」
(東京都写真美術館、2010 年 2 月) など。

2010 年 10 月から 2011 年 2 月まで、北仲スクール（横浜文化創造都市スクール）にて
「アーバンアート論B」担当（お問い合わせは北仲スクール事務局まで）。

北仲スクールアクセス



〒231-0003

神奈川県横浜市中区北仲通 5 丁目 57-2 北仲ブリック

みなとみらい線「馬車道駅」 2 番出口より徒歩 0 分、4 番出口より徒歩 1 分

J R・市営地下鉄「桜木町駅」より徒歩 5 分、J R・市営地下鉄「関内駅」より徒歩 7 分